

1日 とりなし

だから、主にいやしていただくために、罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします。
(ヤコブ5:16)

祈りにはなんとという栄光が隠されていることでしょうか。私たちは一方で、人を祝福しようと待ち、求めておられる神を、その聖さと愛と力のうちに見、もう一方では、天の命と愛が神のもとから降り、人の心の中に住むようにと祈っている、塵の中の虫のような罪深い人間を見るのです。

しかし、人が他の人々のために願うことを大胆に口にし、永遠の命の力とそれに伴う祝福がその人に降ることを、幾度となく繰り返し求める時、そのとりなしの栄光はどんなに大きなことでしょうか。

とりなしは、神の子どもたちにとって大胆で、最も聖なるわざであり、会話によって神と結ばれるという最高の特権と喜びであると言えない人がいるでしょうか。神が人々の内に住み、人々が神の栄光を表わすという神の偉大なわざのために、その道具となって神に用いられることの力はどんなに大きなものでしょうか。

教会がとりなしを主要な恵みの手段のひとつと数え、何にもまさって、滅び行く世界のためにたゆみなく祈る、神の子どもたちの中にある力を、開発しようとしてきたことを心を留めない人があるでしょうか。

一致の中に力があり、昼夜神に叫び求めている神の選ばれた者たちに神が報いてくださるという確信があることを、とりなしの秘密に近づこうとしている信仰者で、期待しない者があるでしょうか。キリスト者が外的な団結に助けを求めることをやめ、イエス・キリストへの絶えざる献身によって神の御座に向かってすべての者が結び合わされ、神の霊の力を求め続けることを目指す時、教会は美しい衣を身につけ、また、力をも着て、この世に打ち勝つのです。

恵み深い私たちの父よ、私たちの祈りに聞いてください。とりなしの栄光が、その祝福が、そのすべての特権を伴った力がどんなものであるかを、あなたの教会に、また、私たちひとりひとりに、教えてください。私たちはあなたに祈ります。あなたの祝福された目的が成し遂げられるために不可欠なものとしてのとりなしが、あなたにとって何を意味しているのか、——祭司の務めを果たすものとしてのとりなしが、私たちのにとってどんな意味があるのか、また、あなたの教会にとって、滅び行く人々にとってどんな意味があるのかを、力ある霊を降し、私たちに示してください。——イエスのゆえに祈ります。アーメン。

第2日 目が開かれるように

主に祈り、「主よ、彼の目を開いて見えるようにしてください」と願った。
…エリシャは、「主よ、彼らの目を開いて見えるようにしてください」と
言った。…（列王紀下6:17,20）

エリシャがそのしもべのために祈った祈りはなんと見事に答えられた
ことでしょう。その若者は火の馬車と御者が山に満ちて、エリシャのま
わりにいるのを見たのです。神のしもべを守るために天の軍勢が神に
よって送られたのです。

二度目にエリシャは祈りました。すると、シリアの軍隊は目くらまし
を受け、サマリヤに連れて行かれました。エリシャが彼らの目が開かれ
るように祈ると、彼らは自分たちが敵の手の中で捕虜となっているのを
見出しました。

私達も霊的な領域でこの祈りを用いたいと思います。第一は、私た
ちの目が開かれて、神が教会のために、その聖霊によるバプテスマのう
ちに備えてくださった、素晴らしい備えを見るよう祈ることです。天の
すべての力は、私たちが天の国の奉仕を遂行するためにあります。神の
子らは、彼ら自身の霊的生活と、彼らを主とその働きのための喜びにあ
ふれた証し人とするための聖霊の力が、彼らの上に、彼らと共に、そし
て彼らの内にあるという、天のヴィジョンに生きることに、なんと乏し
いことでしょうか。

しかし、私達には、第二の祈りも必要なことに気付くべきです。そ
れは、世と罪が神の民の上に持っている力にまだ気付いていない神の子
らの目を開いてくださるやうにとの祈りです。神の民は、キリストのた
めに魂を勝ち取り、聖さと実りある生活に向けて信者を建て上げるとい
う働きの大切さを強調し、それを教会の特性とするとことについて無意
識ではあっても弱くなっています。神がすべての者の目を開いて何が教
会にとって大切で基本的な何かを見ることができるよう、神の祝福
が降るよう、とりなし祈りましょう。聖霊の力が、その天の効力と祝福
において、絶えず知られるよう祈りましょう。

天におられる私たちの父よ、あなたは、言いようもないほどに、私た
ちに力をもって聖霊を与えようとしておられます。私たちの貧しい祈り
に聞いてください。私達はあなたに祈ります。私たちの目を完全に開
いて、あなたの教会と民がいかに低い状態であるか見させてください。
また、教会がひとつとなって祈る熱心な祈りに答えて、あなたが私た
ちに喜んで与えようとしておられる恵みと力の富がどれほどのものである
かを、十分に知るようにしてください。アーメン。

第31日 神の現実としてのとりなし

また、別の天使が来て、手に金の香炉を持って祭壇のそばに立つと、この天使に多くの香が渡された。すべての聖なる者たちの祈りに添えて、玉座の前にある金の祭壇に献げるためである。（黙示録8:3）

この小著は、教会の教えと実践において、牧師にとっても信徒にとっても、とりなしが従属的な位置しか与えられていない現実を指摘するのに十分だったでしょうか。とりなしの重要性は、真のキリスト者の生活において、それを何にも替えがたいものにしてはいないでしょうか。神の言葉を額面通りに受けとめるなら疑いもなくそうです。

とりなしは、驚くべき神の恵みにより、神の贖いの目的における基本的要素とされています。それがなければ贖いは頓挫してしまうのです。キリストは地上で始められたことを天で引き継いでおられ、主は、その目的を達成するために、聖徒たちをとりなしに招いておられます。「これらはすべて神から出ることであって、神は、キリストを通してわたしたちを御自分と和解させ、また、和解のために奉仕する任務をわたしたちにお授けになりました」（第二コリント5:18）とあることを読み、考えてみてください。和解はキリストがなさったことですが、教会にもそれを達成するためになすべき分があるのです。パウロはキリストから託された努めを果たすために昼も夜もとりなしました。それは信じる者の心に働いている神の力の一面にすぎません。

とりなしは神の現実です。それなしに教会はその美しさを失い、神のために偉大なことを成し遂げる喜びと霊の命を失うのです。それなしにはすべての被造物に福音を伝えるという命令を実行することはできません。それなしには教会は病いと弱さから回復できず、世に打ち勝つことができないのです。昼夜神に叫ぶ見張り人、神に覚えられる者となる以外に、信仰者は牧師も信徒も、日々の神とのまじわりにある豊かな命と喜びとに入ることはできないのです。

教会よ、目覚めなさい。「絶えず祈れ、休むことなく、神を休ませるな」との声に聞きなさい。その声への応答は、心の底からの嘆きをもってであっても、「私はシオンのために黙しませんが、神の偉大な贖いにとって、したがって、真のキリスト者の命にとって不可欠で他に代えられないものであることを、神の霊が私たちに示してください。

神が私たちの召しを知らせ、それを満たしてください。

あとがき

アンドリュー・マーレー（1828-1917）は南アフリカで生まれ、神学教育をイギリスとオランダで受けました。彼は新生と献身の体験に導かれ、そのことを両親に宛てた手紙の中で、「あなたの息子は生まれ変わりました。私は自分をキリストに委ねました」と書いています。

マーレーは21歳で南アフリカのオランダ改革派教会の牧師となり、広大な教区で働くうちに健康を損ね、イギリスで療養を余儀なくされました。帰国後、彼はウースターに新しく開かれた神学校で教えることになり、ホーリネス・リバイバルに触れました。

ケープタウンで七年間、説教者として働いた後、マーレーはウェリントンで牧会を始め、彼の説教と著作は、やがて、南アフリカばかりでなく、世界中に知られるようになりました。60年にわたる牧会の中で200冊に及ぶ著作を書き残しています。

1906年、78歳で、35年間勤めたウェリントン教区から引退した後、マーレーはケズィックやノースフィールドの聖会、また、各国の伝道大会の講師として働きました。

「神は、信仰者が、神の豊かな命にあずかるためにすべてのことをしてくださった。それを体験できないのは、中途半端な服従、聖霊の満たしの確信の欠如、祈りの力への疑いがあるからだ。」マーレーはそう言って、信仰と祈りとの結びつきを強調しました。「神は聖徒たちの祈りを通して世界を治めておられる。サタンは祈りの力によって征服され、地上の教会は祈りにおいて天の力を受ける」とも言っています。

「私が生涯で、ひとときたりとも、神の臨在の光と愛と喜びの外で過ごすことがありませんように」が、マーレーの祈りでした。

この『とりなしの秘訣』は、マーレーが書いた“The Secret of Intercession”からの翻訳で、聖句は「新共同訳」から引用しました。この翻訳は、訳者が、以前、教会にこの本が多数あるのを見つけ、それを、毎週の祈り会のテキストとして使ったときに作ったものです。後に、伊藤淑美氏の翻訳で「アンドリュー・マーレー著作集」の中に収録されていることを知りましたが、それを手に入れるのは難しいと思いますので、不十分な訳文ですが、そのまま皆さんに見ていただくことにしました。これを読む方々の手によって、さらに良い訳文が提供されるよう願っています。

「試し読み」はここまでです。

お気に入りでしたら

ご注文ください。



Penguin Club
www.penguinclub.net